

礼 拝 説 教 要 旨

2011年8月14日

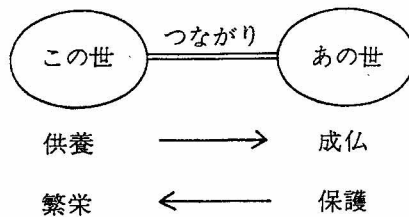
赤江弘之牧師

『この世とあの世』
黙示録22：12～17

はじめに

お盆行事 先祖供養

民族宗教の来世観



神仏混交の日本教

仏からホトケへの変更

聖書の世界観・来世観

聖書の神は万物の創造主 22：13

「というのは、すべてのことが、神から発し、神によって成り、神に至るからです。どうか、この神に、栄光がとこしえにありますように。アーメン。」

ローマ11：36

聖書の神は唯一、仲介者もただ一人

「神は唯一です。また、神と人との間の仲介者も唯一であって、それは人としてのキリスト・イエスです。」

Iテモテ2：5

聖書の救済観 22：12、15

むすび

「あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。行いによるものではありません。だれも誇ることのないためです。」

エペソ2：8、9

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」

ヨハネ3：16